

令和 2 年度進行管理・評価シート
下田市歴史的風致維持向上計画（平成 3 0 年 1 1 月 1 3 日認定）
（最終変更 令和 2 年 5 月 2 9 日）

□進捗評価シート(様式 1)

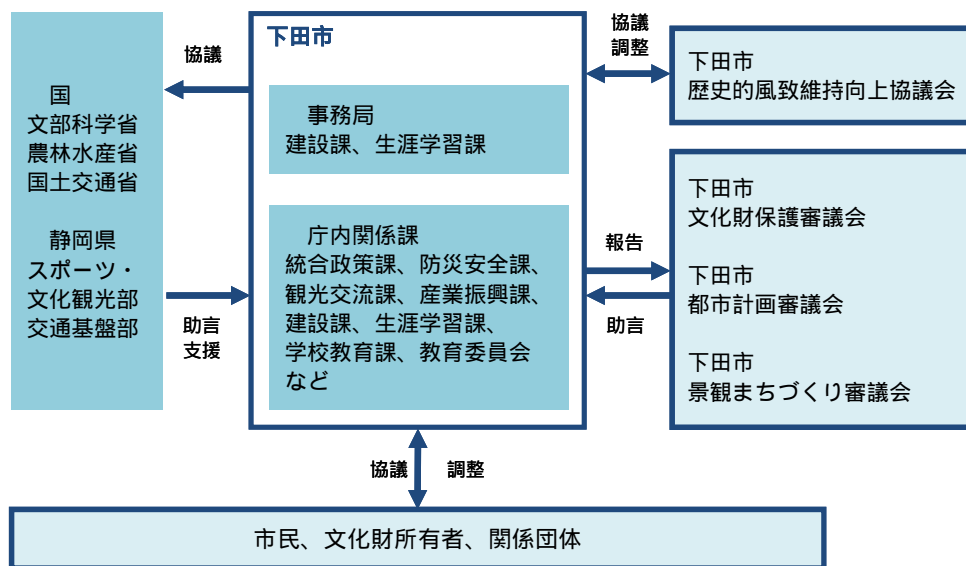
組織体制(様式 1 - 1)	
1 計画の実施体制	1
重点区域における良好な景観を形成する施策(様式 1 - 2)	
1 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(都市計画法)	2
2 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(景観法)	3
3 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(屋外広告物法)	4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式 1 - 3)	
1 下田市歴史的風致形成建造物保存整備事業	5
2 下田市景観まちづくり条例助成事業	6
3 玉泉寺周辺整備事業	7
4 市道大川端通線周辺整備事業	8
5 旧下田町道路美装化事業	9
6 蓮台寺温泉環境整備事業	10
7 下田公園環境整備事業	11
8 下田太鼓祭りプロモーション事業	12
9 太鼓台整備助成事業	13
10 姉妹都市(ニューポート)交流事業	14
11 下田市青年就農給付金給付事業	15
12 天草漁業従事者育成事業	16
13 旧下田町環境整備事業	17
14 歴史文化資源回遊性向上事業	18
15 郷土学習総合推進事業	19
16 下田市歴史文化情報発信推進事業	20
文化財の保存又は活用に関する事項(様式 1 - 4)	
1 文化財調査、保存管理(活用)	21
2 文化財の修理・周辺環境整備、防災訓練	22
3 文化財の普及・啓発、団体との連携	23
効果・影響等に関する報道(様式 1 - 5)	24
その他(効果等)(様式 1 - 6)	
1 観光客の利便性の向上	25

□法定協議会等におけるコメントシート(様式 2)	26
--------------------------	----

評価軸 -1
組織体制

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
計画の実施体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	本計画の推進体制は、本計画策定に主体的に関わる建設課と生涯学習課を中心とし、各事業担当課との連携を図りつつ、本計画の総合的かつ効果的な進行を図る。 また、国や静岡県と協議し、助言や支援を得るとともに、下田市歴史的風致維持向上協議会(計画認定後に名称変更予定)と協議し、計画の円滑な実施や計画変更を推進していく。 さらに、文化財所有者や関係団体と協議や調整を図りつつ、下田市文化財保護審議会などへ報告し、助言を得ていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
建設課と生涯学習課を中心としながら、事業に応じて、庁内関係各課と協議・調整し、市民および民間各団体の理解・協力を得ながら計画を実施している。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		下田市歴史的風致維持協議会内に、事業推進について検討する部会立ち上げを検討したい。	

状況を示す写真や資料等



実施体制



下田市都市計画審議会(勉強会)
 (令和2年7月7日)
 内容:計画、事業内容を説明

評価軸 -1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(都市計画法)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	

計画に記載している内容 本重点区域は、まどが浜海遊公園や柿崎弁天島などの一部を除き、ほぼ全てが用途地域内であり、このような現行の用途地域区分に基づき、適切な土地利用を誘導することにより、中心市街地としての都市機能の集積と良好な居住環境の形成との両立を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

人口は昭和50年をピークに減少し、世帯数も平成12年以降減少に転じている。また、様々な災害リスクを抱えるなか、歴史まちづくりを強調し、市街地の充実と市街地間との連携により、持続可能なまちづくりを進めていくため、「下田市立地適正化計画」の策定を令和3年度より行う方針とした。

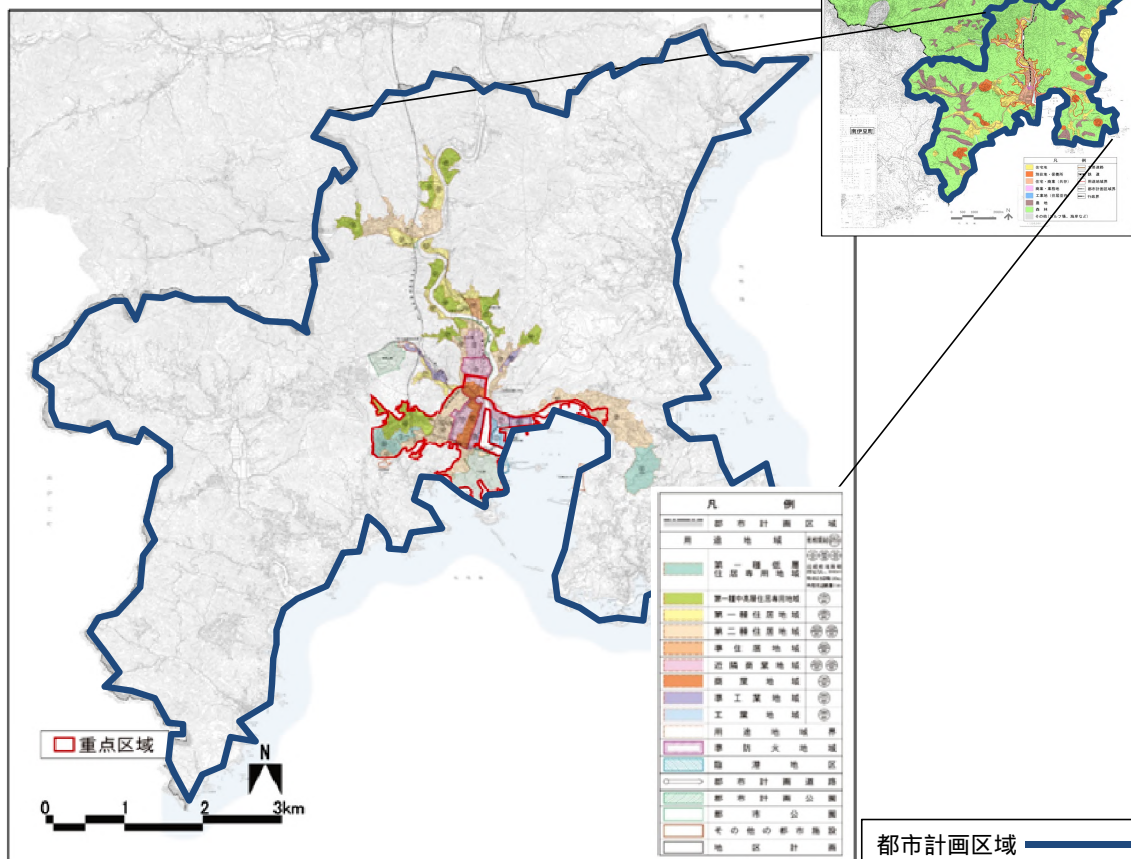
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

計画作成工程(予定)

令和3年度:基礎調査、誘導方針の検討

令和4年度:区域の素案作成、計画取りまとめ



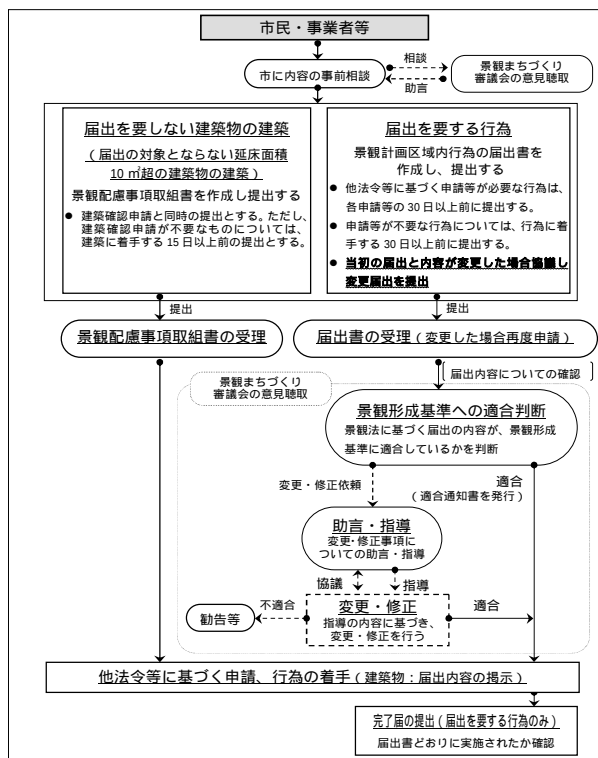
立地適正化計画を策定する下田都市計画区域と重点区域

評価軸 -1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	年度
項目		現在の状況	
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(景観法)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	本重点区域は、旧町内ゾーンと下田港周辺ゾーン、一部に海岸線ゾーンが設定されている。今後は、景観形成施策と歴史的風致維持向上施設の整備及び管理等に関する事業推進の両輪で歴史的風致の維持向上を進めることを基本とし、下田市景観まちづくり条例に基づく景観重点地区の指定を進めていくとともに、歴史的風致と調和した良好な住環境の形成と美しく品格のあるまちづくりを進めていくため、旧下田町内においては、建築物の高さ制限などについて検討していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
「下田市景観計画」に基づき、「下田市景観まちづくり審議会」では、改修予定施設の外壁の色について、この場にふさわしい色を現地で検討するなど、良好な景観の形成に務めた。 届出実績: 3件 うち、重点区域: 0件(令和2年度)			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



下田市景観まちづくり条例に基づく行為着手手続きの流れ

令和2年度第1回 景観まちづくり審議会
(令和2年9月28日)下田市民文化会館ギャラリー
(下田市景観計画に位置付けている下田まち遺産の展示紹介)
(令和3年1月8日から令和3年1月26日まで)

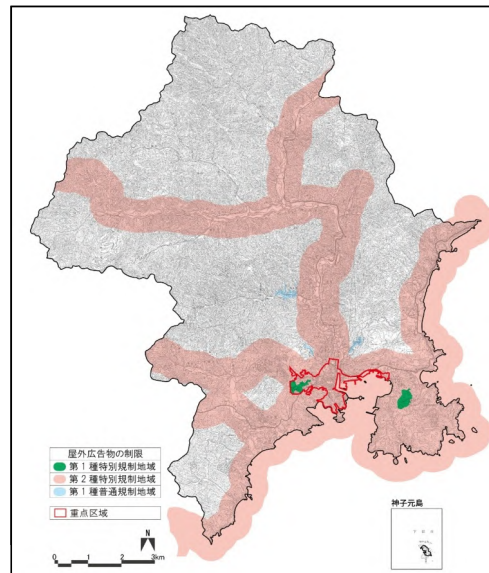
評価軸 -1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	年度
項目		現在の状況	
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(屋外広告物法)		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	本市における屋外広告物の表示及び掲出については、屋外広告物法に基づく静岡県屋外広告物条例により規制誘導されている。屋外広告物条例の周知や屋外広告物の指導に努めるとともに、良好な歴史的風致の維持及び向上を図るため、下田市独自の屋外広告物条例の制定に向けて検討を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
・「静岡県屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物の設置に対して許可申請を実施することで、適正な色彩、規模等へと規制・誘導を行った。 新規許可申請件数:1件、更新許可申請件数:12件(令和2年度) ・無許可屋外広告物の撤去や改善を図るため、文書などによる指導を実施 指導は正件数:7件(令和2年度)			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



改善事例1(前・後)



屋外広告物規制図と重点区域



改善事例2(前・後)

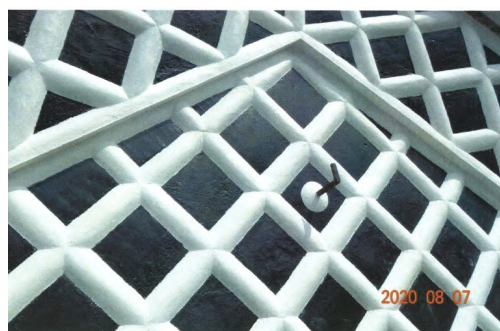
評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
下田市歴史的風致形成建造物保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和元年度～令和4年度)、市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内に所在する歴史的建造物のうち、歴史的風致形成建造物の指定方針に基づき指定した建造物を後世に残すため、必要に応じて現況調査、維持管理や活用についての検討、補修などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物に指定をし、修繕の助成を行い、建造物の保存を進めた。 歴史的風致形成建造物指定(令和元年度:2件、令和2年度:3件)/対象物件10件 歴史的風致形成建造物修繕助成:5件(令和2年度)/対象物件10件			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



指定番号No.1 雑忠(瓦屋根修繕)



指定番号No.3 櫛田蔵(なまこ壁修繕)

評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
下田市景観まちづくり条例助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成21年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内に所在する歴史的建造物のうち、下田市景観まちづくり条例に基づく登録まち遺産である建造物を後世に残すため、必要とされる修繕、活用に向けた費用を助成する。		
定性的・定量的評価(自由記述)		定量的評価は可能な範囲で	
登録まち遺産へ修繕のための助成を行い、市内歴史的建造物の保存を行った。 登録まち遺産助成件数: 5件(令和2年度)(うち歴史的風致形成建造物5件) / 対象物件15件			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



土藤商店(シャッター修繕を機に木製建具に変更)



草画房(霧除け庇修繕)

評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
玉泉寺周辺整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 玉泉寺周辺において、道路修景といった歴史あるまちなみと調和した空間の整備や、駐車場整備といった環境整備を行うことにより、玉泉寺周辺の賑わいを取り戻し、良好なまちなみ環境の形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

整備事業の全体整理のため、観光地エリア景観計画(ふじのくに景観形成計画に基づくもので、地域で目指すべき姿に向けた具体施策を示す計画)の策定について、本エリアの重要拠点となる玉泉寺と協議を行った。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

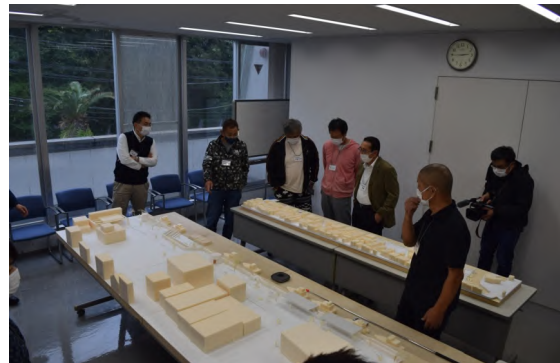


玉泉寺住職との打ち合わせ

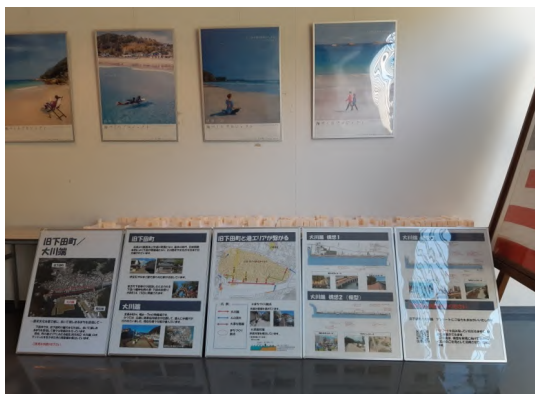
評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
市道大川端通線周辺整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和4年度)		
計画に記載している内容	市道大川端通線周辺において、歴史あるまちなみ及び稲生沢川と調和した空間の整備を図るため、道路東側の物揚場の修景舗装、休憩施設の設置等の再整備を行い、良好な景観形成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述)		定量的評価は可能な範囲で	
関係者と協議を行い、これまで作成してきた3案について景観デザインレビューを開催した。うち1案の模型を作成し、空間全体の雰囲気共有した。この内容を広く周知するために、道の駅及び下田市民文化会館にて展示広報を3か月行った。また、下田市女性の会、地元住民、下田市で、大川端の清掃を行い、意識向上にも繋がった。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



景観デザインレビュー
(令和2年10月9日)



大川端再整備について展示
(道の駅開国下田みなと)
(令和2年10月21日から令和3年1月6日まで)



大川端の清掃
(令和2年10月26日)

評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
旧下田町道路美装化事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(平成30年度～令和4年度)

計画に記載している内容 旧下田町内において、歴史あるまちなみに調和した空間の整備を図るため、道路修景舗装や街灯整備、無電柱化を実施することにより、住民が誇りに持てる空間の形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

平成30年度に「旧下田町地区街なみ環境整備事業計画」を策定し、計画に則って令和2年度も事業を実施した。
 修景舗装実施済延長(令和元年度):49.55m、(令和2年度):69.20m
 これまでにおける修景舗装実施延長割合:実施済延長(118.75m)/計画延長(650m)*100=18%

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



施工前
(市道大工町川岸通線)



施工後
(市道大工町川岸通線完了)



施工前
(市道大工町下川岸通線)



施工後
(市道大工町下川岸通線一部完了)

評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
蓮台寺温泉環境整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成28年度～令和2年度)、市単独事業		
計画に記載している内容	蓮台寺温泉地区において、歴史あるまちなみに調和した空間の整備を図るため、道路修景舗装及び沿道への公園整備等を実施することにより、蓮台寺温泉地区の賑わいを取り戻し、温泉場らしい景観形成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
これまで整備してきた施設を利用して、地区内の歴史文化の散策を促す施策「稲生沢を見る・知る・ふれる」周遊お散歩マップを「稲生沢地域まちづくり協議会」と共に作成、実施した。マップにはオンラインマップを用意して、コロナ禍でも地域を知ってもらえる取組みと訪れたくなる取組みを企画した。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

稲生沢地域まちづくり協議会 第1回 令和2年 7月31日

第2回 令和2年12月11日

第3回 令和3年 2月12日



稲生沢地域まちづくり協議会



散策マップ

評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
下田公園環境整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 下田公園の地形的条件や自然環境などの特質を活かして、下田公園からまちなみを一望できる施設や散策路などの整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

アジサイ開花時期を中心に来訪者が下田公園を訪れた(アジサイ祭りとしては中止)。また、安全な環境を保持するため、危険木の伐倒を行うなど維持管理を行った。

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



あじさい開花時期



下田公園内の木の伐倒

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	
--	--

マップ(表面)



下田市 - 12

評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
太鼓台整備助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	下田太鼓祭りの保全継承のために、祭りで使用する太鼓台の修理費等の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
太鼓台整備助成事業の原資となる可能性のある、下田市景観まちづくり条例における助成内容について見直しを始めた。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		検討においては、今後、下田八幡神社例大祭関係者に現状についてヒアリングを行う必要があると考えている。また、既存助成金との調整が必要である。	
状況を示す写真や資料等			

評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
姉妹都市(ニューポート)交流事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	下田市との姉妹都市であるアメリカニューポート市との交流事業費の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
今年度はコロナ禍により、海外との行き来が自粛され、実施できなかった。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
下田市青年就農給付金給付事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成24年度～令和9年度		
支援事業名	静岡県農業次世代人材投資事業、市単独事業		
計画に記載している内容	新規就農される方に、農業を始めてから経営が安定するまで、生活費などの費用の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
新規利用希望者はなかった。これまで給付を受けた方の就農は継続して行われた。 給付金給付: 0件(令和2年度)			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
天草漁業従事者育成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統産業である天草漁業従事者の育成を図るため、後継者育成・確保のための事業費の一部を補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

静岡県スポーツ・文化観光部文化局文化財課が実施する「静岡県文化財景観総合調査事業」に対して、当市においては、須崎の天草漁を「下田市の重要な文化的景観候補地」として選定、市としての価値の向上に努めた。

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
 □計画どおり進捗していない 今後は、具体的な育成手法について整理して進めていく。

状況を示す写真や資料等

市町名 下田市			
令和2年度 文化的景観総合調査 概要調査票			
ふりがな	しもだのてんぼさ		
名称	下田の天草	種別 (推奨選択可)	漁労 居住
所在地	下田市須崎		
文化的景観の位置及び範囲、概要			
・地域の南東部、太平洋に面した天然の入り江になっている須崎地区は、小さな入り江に面する斜面地に階段状に民家が密集する。 ・毎年4月下旬から9月頃まで、天草漁が行われ、集落内で天日干しが行われる。			
文化的景観の特質・特徴	自然的特性	・須崎港は、南を太平洋に面し、岩礁に囲まれた、波の穏やかな天然の良港である。 ・港外は、入り組んだ岩場の海岸が広がり、水深20m程度までは、藻場となっている。	
	歴史的特性	・市内では、慶長3年(1598)から天草漁が行われていた記録が残り、江戸時代には、須崎地区を含む須崎地域に「ところてん役」が配置されたことが記されている。 ・江戸時代、須崎地区は廻船業が盛んで江戸への販売に力を入れていたが、明治時代になると天草漁に力を入れるようになった。	
	生活・生業の特性	・古くから漁業の町であり、現在も漁業従事者がいる。 ・天草は、素もぐりや、漁船から漁具により採取される。 ・陰干された天草は、「浜処理」と呼ばれる雑草の除去、天日乾燥、梱包が行われる。 ・「浜処理」は、天草倉庫前の広場のほか、漁業種を持つ個人宅の庭先でも行われる。 ・漁の前には、港にある神社で安全祈願が行われる。	
	景観構造	・入り江に面した斜面地に階段状に密集する民家 ・石張地の護岸 ・港外に広がる岩礁	
	その他	・下田市内で天草漁がおこなわれているのは、須崎地区、外浦地区、白浜地区の三か所で須崎の集落では、天日干しする風景をみることができる。 ・高台にある津島神社で毎年、旧暦6月15日に行われる例大祭では、神輿が海入りする。	
文化的景観の特質・特徴を示す構成要素とその特徴			
・入り江に面した斜面地に密集する民家 ・港に繋留される漁船 ・毎年初夏～秋にかけて、集落内各地でみられる天草の天日干 ・海を見下ろす高台の神社、漁の安全祈願が行われる港内の神社 ・天草倉庫と倉庫前の広場			
アピールポイント・住民意識や外部からの評価等			
・ところてんを下田産として販売している			
土地利用規制等(特に景観保全、自然保護、森林や水辺等の環境保全、農業振興の観点から)			
・景観法			
地域社会の取組と課題			



天草干しの風景

文化的景観調査票

評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
旧下田町環境整備事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和4年度)、市単独事業

計画に記載している内容 旧下田町において、市民や観光客の快適性を図るため、伊豆急下田駅周辺の再整備や散策エリアにおけるポケットパークといった休憩施設の設置等を進めることにより、賑わいを取り戻し、観光振興を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

市営駐車場(ペリーロード駐車場)を整備、供用を開始した。来訪者の多いペリーロードに駐車場がなかったが、道路標識「ペリーロード」の先に整備したことにより、駐車場が分かりにくいと言われていた状況から、観光客が迷うことなく駐車できるようになった。また、バス駐車場を設けたことにより、大人数の修学旅行生などを受け入れることができるようになった。そのほか、新しい生活様式に対応して、屋外を有効的に活用してもらうため、昨年度整備したポケットパークなどにイスやテーブルを追加した。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



ペリーロード駐車場(小型車利用状況)



ペリーロード駐車場(大型バス利用状況)



大工町ブレイスポケットパーク(屋外活用)



大川端(河岸端)(屋外活用)

評価軸 -1

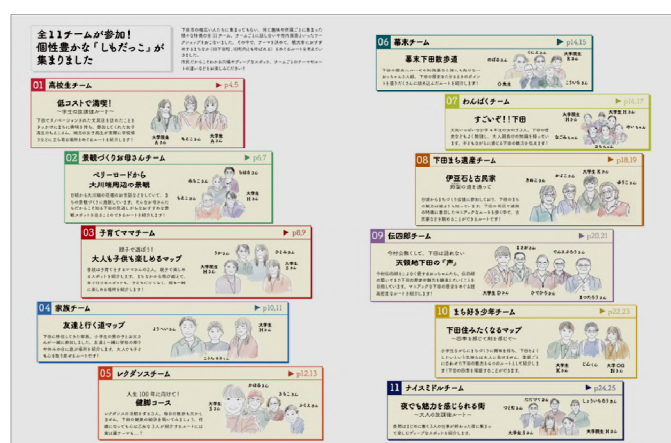
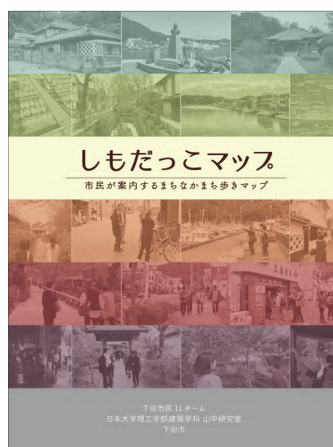
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
歴史文化資源回遊性向上事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	旧下田町地区や蓮台寺温泉地区に残されている歴史・文化資源を活かすため、散策コースの設定やマップ作成、あるいは外国人にも対応する案内サインなどの整備やウォーキングイベント等の開催により、地区内で回遊を生み出し、賑わい創出に繋げ、観光振興を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
下田の町割りや歴史的建造物を見て回ってもらうためにしもだ散策はじめるマップを作成して、市営駐車場や旧澤村邸、市内店舗に配架した。 また、令和元年度に行った日本大学建築学科の学生と地域の方々11団体と一緒に、「街歩きコースマップづくりワークショップ」でつくった内容を、令和2年度に学生さんが冊子として製作、市内観光案内所に配架した(3月末より)。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



しもだ散策はじめるマップ



【冊子】しもだっこマップ 市民が案内するまちなかまち歩きマップ

評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
郷土学習総合推進事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域の素晴らしさを伝えるため、市民の生涯学習や市内小中学生の総合学習において、郷土の歴史・文化に関する学習機会を提供する。また、歴史的建造物や活動を支える職人に対して、有識者を招いて、歴史文化資源の貴重性などについての講義等を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述)		定量的評価は可能な範囲で	
地域固有の資源の素晴らしさを伝えるために出前講座を各地で行った。 また、日本大学建築学科の学生が、「もっと活かせる！まちなかスポット」ワークショップとして、地元の方とまち歩きや意見交換を行った。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		日本大学の取組みについては、今後、資源を活かしながらのまちの再生について提案を行っていく。	
状況を示す写真や資料等			



出前講座(吉佐美集会所)
(令和2年10月16日)



出前講座(稲生沢小学校)
(令和3年3月5日)



ワークショップ(全体説明)
(令和2年9月30日)



ワークショップ(グループ意見交換)
(令和2年9月30日)

評価軸 -1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目	現在の状況	
文化財調査、保存管理(活用)	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	国指定文化財7件、県指定文化財10件、市指定文化財56件、合計73件の有形・無形の指定文化財が存在している。国・県・市指定文化財は、文化財保護法、静岡県文化財保護条例、下田市文化財保護条例のほか、関連法令に基づき保存、活用していく。	
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で		
文化や歴史に特化して市民の意見を聞く「文化まちづくり懇談会」を開催し、これからの下田に求められる文化振興策について、市内の文化団体や歴史・芸術関係者から広く意見を伺った。個人や団体で下田の歴史文化を発信していることが分かり、観光客だけでなく、市民や子供たちも下田のことを学べる環境を整えていきたいと望んでいることが分かった。 また、国指定史跡の玉泉寺にある、ロシア人墓地範囲が国指定史跡として追加指定が予定されていることを受けて、「玉泉寺ロシア人墓地見学会」を開催した。		
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		どのような施策が可能かなどを検討、関連性のある団体を結び付けて継続した活動ができるような仕組み作りを構築していく。
状況を示す写真や資料等		



文化まちづくり懇談会
(令和2年11月18日)



玉泉寺ロシア人墓地見学会
(令和2年12月2日)

評価軸 -1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
文化財の修理・周辺環境整備、防災訓練		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の修理は、歴史の真正性を担保するため、過去の改変履歴や調査記録などの活用と、新たな調査研究に基づき実施することを基本とする。 文化財の周辺環境は、その文化財の魅力に強い影響力を持つ。よって、文化財の保存及び活用を図る上で、その文化財単体にのみ措置を講じるのではなく、その周辺環境と一体的な措置を講じ、文化財の魅力を高める。火災が発生した際の迅速な消火体制の確保や対応力を高めるため、平素から防火教育や訓練に取り組むことで、文化財の滅失する危険性を除外・低下させていく。	
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で		
今後、修理・活用できるようにするため、県指定史跡「吉田松陰寓寄処」における土地で、寄附にて譲り受ける分の取得手続きを進めた。また、同施設では、シロアリ調査を実施した。		
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 県指定文化財「吉田松陰寓寄処」		

評価軸 -1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
文化財の普及・啓発、団体との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	市内外の人々を対象として実施する普及・啓発としては、文化財の価値や貴重さを伝えるために、各指定文化財の統一的な案内看板の設置や、文化財パンフレット等を作成し配布するとともに、ボランティア等によるガイド活動やイベントの開催を行っていく。 また、活動団体と連携して保存・活用を図るため、官民協働により担い手育成の支援や、必要な助言・指導などを継続的に行っていく。	
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で		
中学生以上を対象に、南豆、特に下田の歴史について再認識してもらうことを目的とした講座を全4回、1年にわたって開催した。講師はテーマに応じた専門家がを行い、内容を充実させた。		
進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
- 令和2年8月29日 遺伝子DNAから日本人の源流を探る ～伊豆南部地域調査の意義～ 講師: 国立遺伝学研究所集団遺伝研究室 斎藤成也教授 - 令和2年9月26日 世界最古の往復航海 ～神津島産黒曜石を求めて～ 講師: 明治大学黒曜石研究センター 池谷信之特任教授 - 令和2年10月3日 ウィーン万国博覧会と伊豆 講師: 下田市文化財保護審議会 高橋 廣明副会長 - 令和2年11月15日 南禅寺仏像群と下田の平安仏 講師: 下田市文化財保護審議会委員 上原美術館主任学芸員  下田市教育委員会連続講座「南豆の歴史を後世に」 (令和2年10月3日)		

評価軸 -1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	令和2年度
年月日		掲載紙等	
DNAから日本人源流探る 三島・遺伝研斎藤教授が講話		令和2年8月30日	伊豆新聞
3素案で意見交換 下田市の大川端デザイン協		令和2年10月11日	伊豆新聞
公園や川岸が"リビング"賑わい創出へ3会場		令和2年10月15日	静岡新聞
下田・女性の会 大川端で草取り、清掃 県・市と協力		令和2年10月22日	伊豆新聞
「文化、歴史でまちづくりを」初の懇談会に各種団体40人		令和2年11月20日	伊豆新聞
下田の歴史文化活動語り合う		令和2年11月23日	静岡新聞
日口交流の歴史学ぶ 玉泉寺ロシア人墓地見学		令和2年12月3日	伊豆新聞
下田市の大川端再整備 模型、パネルで説明「誇れる景観に期待」		令和3年1月18日	伊豆新聞
「稲生沢の散策楽しんで」都市再生集大成マップ作製、20日から企画		令和3年1月31日	伊豆新聞

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

完成した事業だけではなく、検討・準備段階で報道されることにより、歴史まちづくりの進捗状況の情報提供に繋がった。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

著作権保護のため、新聞記事は掲載しておりません。

評価軸 -1
その他(効果等)

評価対象年度

令和2年度

項目

観光客の利便性の向上

計画に記載している内容 美しく風格ある都市を創生し、訪れる人々に感動を与えられるようなまちづくりを行い、地域の活性化や観光振興につなげていくことが重要である。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

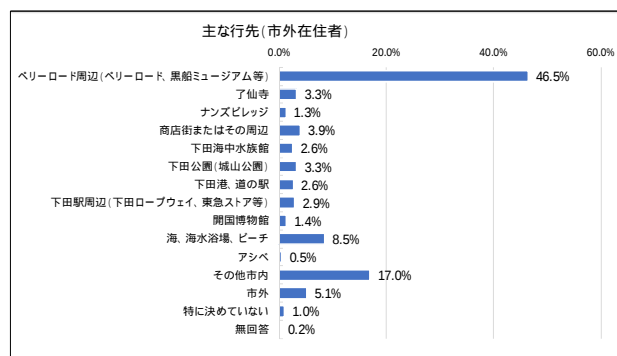
平成30年度に実施した、旧下田町地区内来訪者を対象としたヒアリング調査(857名)において、市外在住者の駐車場がわかりにくいというご意見と、主な行き先がペリーロードであるという結果を得た。これら結果を受けて、駐車場配置方針の策定と、主要幹線道路上の道路標識「ペリーロード」の先の下田市営ペリーロード駐車場を整備した。整備前は、隣接する公園無料駐車場の休日の利用率が昼頃には飽和状態であったが、ペリーロード駐車場の整備でスムーズに駐車できるようになり、観光の利便性の向上につながった。

進捗状況 計画年次との対応

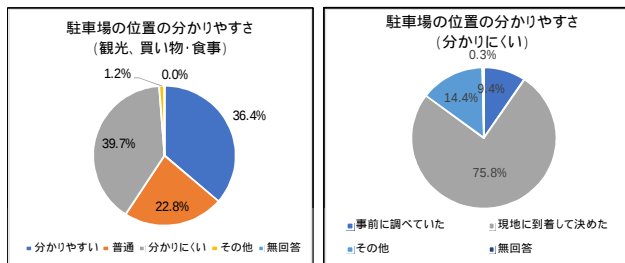
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- ☐ 計画の進捗に影響あり
☒ 計画の進捗に影響なし

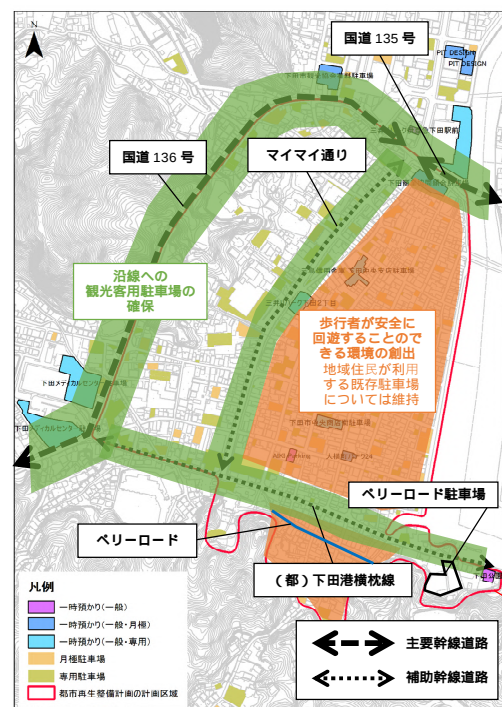
状況を示す写真や資料等



旧下田町市外来訪者の主な行き先



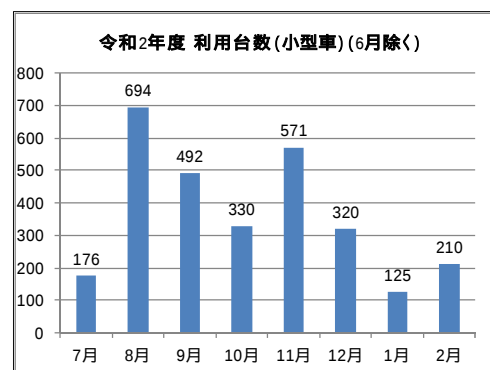
市外在住者の駐車場の分かりやすさ 市外在住者の分かりにくいと答えた人の駐車場の決め方



駐車場配置方針図

調査時刻	収容可能台数	瞬間駐車台数(1時間毎) 下田公園駐車場			
		8月31日(金)	利用率	9月1日(土)	利用率
9時台	28	9	32.1%	15	53.6%
10時台	28	10	35.7%	19	67.9%
11時台	28	12	42.9%	19	67.9%
12時台	28	19	67.9%	25	89.3%
13時台	28	25	89.3%	27	96.4%
14時台	28	17	60.7%	24	85.7%
15時台	28	19	67.9%	24	85.7%
16時台	28	16	57.1%	24	85.7%
17時台	28	11	39.3%	16	57.1%

平成30年度隣接公園無料駐車場利用台数(整備前)



令和2年度ペリーロード駐車場利用台数

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和2年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 下田市歴史的風致維持向上協議会(書面)	
会議等の開催日時: 令和3年3月15日～令和3年3月25日(意見聴取期間)	
(コメントの概要) 【重点区域における良好な景観を形成する施策】 評価軸 - 1 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(屋外広告物法) ・中島橋交差点の屋外広告物の適正化について、代替場所の検討等が必要である。 評価軸 - 1 下田市歴史的風致形成建造物保存整備事業 ・今後、文化財保護法に基づく指定文化財以外の、なまこ壁等歴史的建造物について、より積極的な修復保存を図るため、建築基準法第3条1項3号及び4号の規定の適用を検討し、修復保存に伴う建築確認の適用除外についてより幅広い運用を可能とすることが望まれる。 ・歴史的建造物に関する助成制度として、歴史的風致形成建造物、下田まち遺産、歴史的まちなみ景観基金など、色々あり煩雑化しているため整理が必要。 評価軸 - 1 玉泉寺周辺整備事業 ・みなとまちゾーン活性化基本計画で、玉泉寺エリアは、旧下田町までと一体となった散策ゾーンとなっているため連携を図ること。 評価軸 - 1 下田公園環境整備事業 ・下田公園は下田城址であることから、歴史を感じる「城山公園」への変更を検討してほしい(元々は城山公園という名称だった)。 【文化財の保存又は活用に関する事項】 評価軸 - 1 文化財調査、保存管理(活用) ・今回のような意見交換会では、外部民間の目線を入れることが必要。行政コンサルではなく、民間事業者を入れるべき。 ・多発する風水害や地震災害のほか、ノートルダム大聖堂や首里城の火災を受けて、文化財の防災は近年注目される重要懸案事項となっており、文化財防災は重要な内容ですので、計画内容の実施について取り組んでいくこと。 【効果・影響等に関する報道】 評価軸 - 1 効果・影響等に関する報道 ・行政が提供すれば記事・番組にする、地元の新聞・TVにおける報道は評価対象にはならない。SNSでどれだけ話題になっているかが現代の評価になる。 【その他(効果等)】 評価軸 - 1 観光客の利便性の向上 ・ペリーロード駐車場の月毎の利用台数はどうなっているか。人件費を賄うのが最低採算ライン。公園駐車場に利用を考えても、極端な採算割れは望ましくない。	
(今後の対応方針) 協議会の意見を踏まえた今後の取組みについては、事業推進について検討する部会(下田市歴史的風致維持向上協議会内に設置)で協議のうえ取り組みたい。	